

## 会社四季報とは？

### 1. コンパクトな企業データの宝庫

1936年の創刊以来、上場企業のデータを網羅してきました。企業情報収集の定番として、株式投資のみならず、取引先の調査やマーケティング、就職活動に活用されています。“会社辞典”の代名詞的存在です。

### 2. 突出した「網羅性」と「継続性」

四季報記者の徹底取材により、企業寄りでも証券会社寄りでもない中立的・客観的な分析に定評があります。特に過去から蓄積した記事・データをベースに立てる2期予想は最大の強みです。

全上場企業を1冊にまとめた雑誌は世界で唯一無二であり、個人投資家だけでなく証券会社・金融関係のプロや公的機関からも絶大な信頼を寄せていただいています。

### 3. “事実と変化”がわかる卓越した面白さ

四季報の面白さは“事実と変化”です。若い企業の躍進、低迷企業の復活、そして成長企業の挫折、その理由など、圧倒的ボリュームの企業分析と独自スクープの面白さを、ぜひ継続して読むことで発見してください。

## 3分でわかる四季報

どんな会社(①、②)を  
誰が所有し(⑦)、  
誰が経営を任せ(⑧)、  
短期・中期業績はどうか(③、④)、  
前号比、会社予想比の利益修正率(⑤)、  
配当はどうか(⑥)、  
安全か(⑨)、  
株式市場はどう見ているか(⑩、⑪)、  
株価は割安か、割高か(⑫)。

**四季報を12ブロックで読み解く**

① 業種  
② 会社名  
③ 前号比  
④ 会社予想比  
⑤ 利益修正率  
⑥ 配当  
⑦ 所有  
⑧ 経営  
⑨ 安全  
⑩ 株式市場  
⑪ 割安割高  
⑫ 株価

【会社】前号比 売上高 営業利益 経常利益 純利益 1株当たり 1株当たり  
 前15.3\* 22,966 2,033 2,069 1,304 41.9 13.4  
 前16.3\* 26,612 3,276 3,322 2,305 74.1 29.2  
 前17.3 32,536 3,847 3,899 2,572 82.7 29.2  
 前18.3 37,385 5,012 5,012 3,136 113.6 33.3  
 前19.3 40,768 5,975 6,012 3,572 127.6 40.4  
 前20.3\* 46,300 7,800 7,800 5,100 163.9 40\*4  
 前21.3\* 50,800 9,000 9,000 5,900 189.6 40\*5  
 前19.4\* 22,387 3,518 3,518 2,268 72.9 40\*5  
 前20.4\* 24,400 4,000 4,000 2,600 83.5  
 前20.3\* 45,200 6,970 7,000 4,550 (19.5.13) 82.0 (587.9)

【株主】⑧8,473(19.9) 前  
 エスカワコエ備 930(29.8)  
 日本マスター信託 152(4.9)  
 日本トラスティ信託 139(4.4)  
 山陰合同銀 90(2.8)  
 とりきんり 76(2.4)  
 日本トラスティ信託 72(2.3)  
 SSBバンク 70(2.2)  
 パス・アカウン 45(1.4)  
 日本トラスティ信託 45(1.4)  
 日本トラスティ信託 40(1.2)  
 商工中金 36(1.1)  
 外国 13.4% (浮動株) 11.2  
 役員 6.9% (特定株) 53.7

【役員】前号比 前号比  
 前15.3\* 22,966 2,033 2,069 1,304 41.9 13.4  
 前16.3\* 26,612 3,276 3,322 2,305 74.1 29.2  
 前17.3 32,536 3,847 3,899 2,572 82.7 29.2  
 前18.3 37,385 5,012 5,012 3,136 113.6 33.3  
 前19.3 40,768 5,975 6,012 3,572 127.6 40.4  
 前20.3\* 46,300 7,800 7,800 5,100 163.9 40\*4  
 前21.3\* 50,800 9,000 9,000 5,900 189.6 40\*5  
 前19.4\* 22,387 3,518 3,518 2,268 72.9 40\*5  
 前20.4\* 24,400 4,000 4,000 2,600 83.5  
 前20.3\* 45,200 6,970 7,000 4,550 (19.5.13) 82.0 (587.9)

【業績】前号比 売上高 営業利益 経常利益 純利益 1株当たり 1株当たり  
 前15.3\* 22,966 2,033 2,069 1,304 41.9 13.4  
 前16.3\* 26,612 3,276 3,322 2,305 74.1 29.2  
 前17.3 32,536 3,847 3,899 2,572 82.7 29.2  
 前18.3 37,385 5,012 5,012 3,136 113.6 33.3  
 前19.3 40,768 5,975 6,012 3,572 127.6 40.4  
 前20.3\* 46,300 7,800 7,800 5,100 163.9 40\*4  
 前21.3\* 50,800 9,000 9,000 5,900 189.6 40\*5  
 前19.4\* 22,387 3,518 3,518 2,268 72.9 40\*5  
 前20.4\* 24,400 4,000 4,000 2,600 83.5  
 前20.3\* 45,200 6,970 7,000 4,550 (19.5.13) 82.0 (587.9)

【社名・事業内容・本社住所】  
 【社名】19.9  
 【事業内容】19.9  
 【本社住所】19.9

【前号比増額】  
 【会社比増額】

『会社四季報』は企業の特徴や注目材料、業績、財務内容、株価の動きをコンパクトにまとめた季刊雑誌(3、6、9、12月刊)です。掲載対象は原則として株式を自由に売買できる証券取引所に上場している全企業です。

## 四季報を12ブロックで読み解く

誌面は大きく12の欄に区分できます。①業種、②社名・事業内容・本社住所・仕入先・販売先等、③業績記事・材料記事、④業績数字、⑤前号比矢印・会社比マーク、⑥配当、⑦株主、⑧役員・連結会社、⑨財務、⑩資本異動・株価推移・特集企画・業種・時価総額順位・比較会社、⑪株価チャート、⑫株価指標です。

まず、①業種と②基本情報で企業の特長や設立、上場年月などを把握できます。さらに【特色】でビジネスモデルや市場シェアなどがわかり、【連結事業】の事業構成比と各事業の売上高利益率で、収益柱がわかります。【従業員】の社員数からは企業規模、平均年齢や平均年収からは企業の活力を推し量れます。

そして、四季報最大の特長が、③業績記事・材料記事と④業績数字です。④業績数字は、業界担当記者の取材に基づいた独自2期予想で、③前半の業績記事で解説を加えています。③後半の材料記事では、工場新設、新商品など、成長戦略や経営課題に触れています。④業績数字の各段階利益は、営業利益は本業が生み出す利益、これに受取利息、配当金から支払利息を引いた金融収支などを加えたものが経常利益です。ここから土地の売却益や減損など、特別損益を加え、税金などを差し引いたものが純利益です。

④業績数字で「予」が付いている予想が四季報の独自予想で、会社計画（最下段の「会」が付いた業績計画）と異なるケースが多くあります。業績予想は、前号からの変化が重要ですが、それが一目でわかるのが、⑤上段の前号比矢印です。今号予想を増額したときは↑、逆に減額したときは↓が入ります。また、四季報予想と会社計画が異なる場合、⑤下段の会社比マークが付きます。四季報予想が会社計画より強気なときは☺が、弱気なときは☹が付きます。

⑥【配当】は、株主が実際に受け取った、または受け取れると予想した額を載せています。一方、④業績数字の配当は、株式分割や株式併合などで発行済み株式数が変化した場合も時系列で増減がわかるよう、影響を調整した額を掲載しています。株式分割や株式併合などの情報は⑩【資本異動】に載せています。

企業分析では、足元の業績だけでなく、安全性や効率性、将来性を見る必要があります。⑦【株主】は、誰が会社を所有しているか、⑧【役員】は、誰が経営を委託されているかを表します。株主や役員が一気に、または頻繁に代わる場合は、経営が動揺していないか、注意する必要があります。⑨【財務】に記載されている、返済義務のある有利子負債と、株主に帰属する資産の比率を表す自己資本比率も、安全性を測る代表的指標です。実際の現金の出入りを示す【キャッシュフロー】も、営業キャッシュフローが長期で赤字が続く場合などは要注意です。

企業の効率性を調べる場合は、【指標等】が参考になります。ROE（自己資本利益率）は、株主から集めたおカネを使い利益を生み出す際の効率性を表します。企業の将来性を見るときは設備投資や研究開発も重要です。設備投資が減価償却費より多い企業は事業の拡大意欲が強いといえ、設備投資や研究開発費の動向から、経営姿勢を推測できます。

株価の動きは、⑩株価推移と⑪株価チャートで確認できます。業績は株価を決める重要な要素ですが、株価は株を売買したい人がどれだけいるかという需給も影響します。⑩株価推移で過去の高値・安値や出来高を見て、⑪月足の株価チャートを使うと、中期的な株価位置がわかります。さらに、⑫株価指標の今期、来期の予想PER（株価収益率）が、3年平均の高値、安値PERと比べ、どの水準にあるかを考えると、その会社の株価が割安か割高か、判断する参考になります。

# なぜ会社四季報は「株式投資のバイブル」なのか？

みなさんは『会社四季報』（以下、四季報）が、類似の投資情報誌とどこが違うの？ 同じじゃないの？ と思っていませんか。たとえ見た目は似ていても、中身には大きな「差」があります。この差を知ることが、四季報を使いこなすための第一歩です。ここでは、四季報の特長を5つ紹介しましょう。

### 1. 全上場企業を担当記者が日頃からウォッチ

いま上場企業は3760社を超えています。その全社に対して四季報は担当記者をつけています。決算発表や新商品発表、工場取材、社長をはじめ幹部への取材などを通じ日常的に会社を取材しています。証券会社でもアナリストがカバーしているのは大手を中心に500社程度と言われています。つまり証券アナリストは、3000社以上の上場企業をカバーできていません。ただ、実は株価が10倍になる、いわゆるテンバガー企業は、まだ成長途中の中堅企業やベンチャー企業から生まれるケースが多いのです。

### 2. 業績の完全2期予想は四季報だけ

四季報の最大の特長は業績2期予想を行っている点です。類似の投資情報誌は基本的には1期予想で、2期目はアナリストの予想を使ったりしています。しかし全社ではありません。アナリストは全社をカバーしていないので予想数字がないのです。

どうして2期目の予想が大事なのでしょうか。例えば、秋になると株式市場は来期業績を注目し始めます。20年3月期のP E Rが25倍、21年3月期が10倍だとすると、株価は21年3月期業績を織り込み上昇するケースが多くあります。その時、役に立つのが四季報なのです。欄外の株価指標には、2期分の予想P E Rを掲載しています。

### 3. 投資家が注目する四季報の増額

四季報が発売になると読者のみなさんがまずチェックするのが上方修正企業です。前号に比べて予想営業利益を増やしたかどうか欄外の記号で確かめられます。↑が30%以上の上方修正企業です。

中でも要注目な四季報記者が独自増額した企業です。会社が予想を据え置いた場合でも、四季報は独自に利益予想を増減させることがあります。四季報は季刊の“雑誌”です。記者の予想、編集部の判断を重ね合わせ予想を作っています。発売日に株価が上昇するいわゆる「四季報相場」になる企業はそうした独自増額企業が多いようです。

次の日本K F Cホールディングス（9 8 7 3）の誌面をご覧ください。2019年3月15日に発売された19年春号で、四季報は19年3月期営業利益を22億円と予想しました。会社側のこの時点での営業利益計画は期初に発表した10億円のままでしたが、四季報は会社側の予想を過小だと判断し、独自の予想数字を練り上げたのです。実は四季報は、すでに前号の新春号で独自増額予想を立てていました。それを春号では、さらに引き上げたため、業績記事で「再増額」と記述しています。そして、5月8日に会社は19年3月期決算と同時に上方修正を発表し、営業利益を22.06億円に引き上げて着地しました。会社側の予想が、四季報予想を追従したわけで、四季報の独自予想の的確さを裏付けた例です。

19年春号で四季報は19年3月期営業利益を22億円と予想。営業利益計画を10億円としていた会社側も、その後、22.06億円に上方修正した。2000円前後で膠着していた株価は業績好転を受け19年末3500円台へ急伸した。

東	90~16	12100(90)	9	本業	7	山王	1	25名<18.9>	株	787(34.5)	認	の	既	【復	9873	日本KFC	【小売業】	↑↑大幅増額	1898
	17	2053(3)	19	益剰余金	3,888	ハ	1	口)	35(1.5)	787(34.5)	訴	の	存	【調	9873	日本KFC	↑↑大幅増額	1898	
	18	2025(2)	19	子負債	0	ハ	1	口)	35(1.5)	787(34.5)	求	の	店	【不	9873	日本KFC	↑↑大幅増額	1898	
	18.12	1990	1906	指標等】	<達18.3>	ハ	1	口)	35(1.5)	787(34.5)	た	の	は	【採	9873	日本KFC	↑↑大幅増額	1898	
	19.1	1991	1960	OE	2.8%	ハ	1	口)	35(1.5)	787(34.5)	客	の	低	【算	9873	日本KFC	↑↑大幅増額	1898	
	#2	2007	1984	DA	1.6%	ハ	1	口)	35(1.5)	787(34.5)	功	の	価	【ピ	9873	日本KFC	↑↑大幅増額	1898	
				整1株益	一円	ハ	1	口)	35(1.5)	787(34.5)	の	の	格	【ザ	9873	日本KFC	↑↑大幅増額	1898	
				高純益(92.11)	2,271	ハ	1	口)	35(1.5)	787(34.5)	リ	の	ラン	【ン	9873	日本KFC	↑↑大幅増額	1898	
				備投資	2,063	ハ	1	口)	35(1.5)	787(34.5)	ピ	の	チ	【ザ	9873	日本KFC	↑↑大幅増額	1898	
				価償却	2,355	ハ	1	口)	35(1.5)	787(34.5)	ー	の	や	【議	9873	日本KFC	↑↑大幅増額	1898	
				突開発	34	ハ	1	口)	35(1.5)	787(34.5)	ト	の	減	【渡	9873	日本KFC	↑↑大幅増額	1898	
				キャッシュフロー	前四	ハ	1	口)	35(1.5)	787(34.5)	ト	の	費	【2	9873	日本KFC	↑↑大幅増額	1898	
				【営業CF変化】	0.82倍(値近平均26.23億円)	ハ	1	口)	35(1.5)	787(34.5)	需	の	用	【層	9873	日本KFC	↑↑大幅増額	1898	
				売上営業CF比率	-0.81pt(値近平均3.15%)	ハ	1	口)	35(1.5)	787(34.5)	間	の	か	【戦	9873	日本KFC	↑↑大幅増額	1898	
				【グループ採用】	初20.0万円	ハ	1	口)	35(1.5)	787(34.5)	を	の	さ	【略	9873	日本KFC	↑↑大幅増額	1898	
				【業種】	外食・娯楽サービス	ハ	1	口)	35(1.5)	787(34.5)	取	の	む	【度	9873	日本KFC	↑↑大幅増額	1898	
				【比較会社】	2702 マクドHD, 8153	ハ	1	口)	35(1.5)	787(34.5)	り	の	度	【2	9873	日本KFC	↑↑大幅増額	1898	
				【業績】(百万円)	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株(円)	【配当】	配当金(円)	込	の	度	【層	9873	日本KFC	↑↑大幅増額	1898
				達16.3	88,180	2,011	1,866	730	32.6	50	17.3	25	の	度	【層	9873	日本KFC	↑↑大幅増額	1898
				達17.3	88,032	2,558	2,425	1,365	60.9	50	17.9	25	の	度	【層	9873	日本KFC	↑↑大幅増額	1898
				達18.3	73,457	477	627	578	25.8	50	18.3	25	の	度	【層	9873	日本KFC	↑↑大幅増額	1898
				達19.3	73,500	2,200	2,300	1,450	64.9	50	18.9	25	の	度	【層	9873	日本KFC	↑↑大幅増額	1898
				達20.3	74,200	2,600	2,700	1,700	76.1	50	19.3	25	の	度	【層	9873	日本KFC	↑↑大幅増額	1898
				申18.9	35,070	485	547	367	16.5	25	19.9	25	の	度	【層	9873	日本KFC	↑↑大幅増額	1898
				申19.9	35,700	850	900	600	26.8	25	20.3	25	の	度	【層	9873	日本KFC	↑↑大幅増額	1898
				四17.4-12	57,753	1,003	1,181	1,430	63.9				の	度	【層	9873	日本KFC	↑↑大幅増額	1898
				四18.4-12	56,738	2,151	2,250	1,470	65.8				の	度	【層	9873	日本KFC	↑↑大幅増額	1898
				会19.3	73,000	1,000	1,100	700	(18.5.9)	932.7	(922.8)		の	度	【層	9873	日本KFC	↑↑大幅増額	1898

#### 4. 高シェアが読者の利益を生む

こうした積み重ねが読者の支持につながり、投資情報誌の中でのシェアは圧倒的なナンバー1です。ここで重要なのが、シェアが高いことは読者の利益につながるという点です。ビールならばシェアよりも自分の好みを優先する人も多いでしょう。ところが、株式投資ではそうはいきません。「株は美人投票だ」とケインズが言ったように、自分が誰を美人と思うかより、みんなが票を入れそうな企業を探し出さなければならないからです。

周りの空気を読まずに自分だけで動くのは決して得策ではありません。市場参加者の多くが頼りにする情報をいち早く入手することが成功につながります。ちなみに海外で日本企業の業績予想といえば四季報予想のことを言い、年金ファンドや海外マネーも四季報予想を参考にしています。

株式投資といえば、まず四季報から。創刊以来、一貫して読者の立場から編集してきたことで、「株式投資のバイブル」として、歴史的な知名度と情報の信頼性は類似誌を圧倒しています。

#### 5. 年4回の特長を知っておこう

四季報の各号の特長をマスターしておくとう便利です。

3月期決算は4～5月に発表されます。6月発売の「夏号」は前3月期決算の結果を収載、新しい期の期初の予想が載る号です。投資家の注目が特に高い号と言えます。

第1四半期(4～6月期)の結果を基に修正をかけるのが9月発売の「秋号」。四季報の独自予想が際立つ号です。

9月中間決算を受けて今期、来期の予想を修正するのが12月発売の「新春号」。3月期決算の場合、2期目(来期)の予想に注目が集まります。

「春号」(3月発売)は、12月期の本決算と3月期の第3四半期(4～12月期)発表を受けて制作します。

会社四季報の発行は年4回。  
3月(春号)、6月(夏号)、9月(秋号)、12月(新春号)の中旬に発売します。

【新春号】



年月(資本変動)	期	(株式)	18,846	1,017	100	7,120	19,863	10,859	19,977	2,307	128	1,200	1,446	789	9,66	1,322	297	3,76	1,17	1,33	4.38	4.28	4.28	3.88	80.88	
97.9	12	1000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000

事業年度の折り返し地点を過ぎ、そろそろ通期の着地点がどのあたりになるのかが見通せるようになります。記者にとっては腕の見せどころ。大胆な上振れ予想、下振れ予想が随所に出てきます。新春号は年間を通して最もサプライズ企業を発掘しやすい号といわれていでしょう。

【春号】



年月(資本変動)	期	(株式)	141,669	10,000	100	12,225	151,694	148,506	148,506	14,166	1,416	1,416	1,416	1,416	1,416	1,416	1,416	1,416	1,416	1,416	1,416	1,416	1,416	1,416	1,416	
87.10	11	1000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000

第3四半期決算が出そろうのは2月半ば。本決算まであと3カ月分が残っていますが、カレンダーの上ではあと1カ月で新年度を迎えてしまいます。春号での記者の視点も、着地点がほぼ見えている今期ではなく、来期の動向に移ります。業績欄のコメントも半分以上が来期に関するものとなり、「見出し」(先頭の【 】の部分)も来期の業績を象徴した言葉になっています。来期の有望企業を先回り買いはうってつけの号といわれていでしょう。

【夏号】



年月(資本変動)	期	(株式)	206,000	10,000	100	12,225	218,225	206,000	206,000	14,166	1,416	1,416	1,416	1,416	1,416	1,416	1,416	1,416	1,416	1,416	1,416	1,416	1,416	1,416	1,416	
87.4	12	1000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000

上場企業の約7割は3月期決算企業です。決算は毎年5月半ばまでに出そろう、多くの場合は、実績と同時に新年度の業績予想も発表します。「夏号」の特長は3月実績を完全収録していること。記者は取材を通して会社側の計画が甘すぎたり堅すぎたりしないかを吟味し、前期実績との比較を中心にコメントしています。

【秋号】



年月(資本変動)	期	(株式)	40,362	10,000	100	12,225	52,587	40,362	40,362	14,166	1,416	1,416	1,416	1,416	1,416	1,416	1,416	1,416	1,416	1,416	1,416	1,416	1,416	1,416	1,416	
17.10	11	1000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000

4~6月の第1四半期業績が出そろうのが8月半ば。秋号での記者の作業は、新年度がスタートして3カ月間の実績を踏まえ、為替や市況など前提条件に変化はないか、期初に立てた予想数字に狂いが生じ始めていないかなどの確認が中心になります。期初計画達成が早くも怪しくなってきた企業も現れ始め、四季報独自の「サプライズ予想」が徐々に増えてきます。